

様式第3号

令和8年度 一関市立藤沢中学校 第1回学校運営支援協議会 会議録

- 1 会議名 令和8年度 一関市立藤沢中学校 第1回学校運営支援協議会
- 2 開催日時 令和8年6月16日（火） 午前10時から 午前11時30分まで
- 3 開催場所 一関市立藤沢中学校 会議室
- 4 出席者 星義弘委員（会長）、櫻井博勝委員（副会長）、鈴木みえ委員（副会長）、
佐川勝弘委員、千葉英利子委員、熊谷富寿子委員、菊地慶正委員、
大川憲一委員（校長）、佐々木済通委員（副校長）
※欠席者 佐藤 聖子 委員
- 5 議題 ※ 会議の開会前に授業参観を行った
 - (1) 学校運営支援協議会について
 - (2) 令和8年度 学校運営の基本方針について
 - (3) 第2回学校運営支援協議会 生徒との熟議におけるテーマについて
 - (4) 情報交換・その他
- 6 公開、非公開の別 (1)～(3)のみ公開
- 7 非公開の理由 (4) 情報交換・その他 の一部には個人情報が含まれており、一関市情報公開条例第7条第2号に該当するため。
- 8 傍聴人 0人
- 9 議事内容等
 - (1) 学校運営支援協議会について
 - ア 組織について（事務局案により承認）
会長 星 義弘（藤沢町住民自治協議会 会長）
副会長 櫻井 博勝（学識経験者）、鈴木みえ（学識経験者）
 - イ 目的の確認と年間計画について
質問、意見なし。承認を得た。
 - (2) 令和8年度 学校運営の基本方針について
学校要覧に基づき、校長より今年度の学校経営の重点とまなびフェストを説明。
櫻井委員：どの教室にも「学習課題」が示されていることを評価したい。特によく整備された音楽室の環境が素晴らしい合唱を生んでいると感じた。
熊谷委員：授業参観では生徒たちがタブレットやPCに非常に一生懸命向き合っている姿が印象的だった。対話というよりは、一人ひとりが必死に端末に向かって学習を進めている様子であった。

鈴木委員：昔の授業風景とは様変わりしたが、現代社会でタブレットを自由に使いこなす力は将来の仕事にも役立つだろう。

佐川委員：地域の小学校では地域との協働で草刈りをしているが、中学校では地域連携の取り組みはどうなっているか。

副校長：今年度より地域コーディネーターを配置して頂いている。これを活用して体育祭前に草刈りボランティアを募ったが参加者0名だった。周知が遅れたことなども原因の一つと考えられる。

千葉委員：4月の段階で年間計画を配布したり、告知放送を活用したりするなど、周知の工夫が必要だ。

星委員：部活動の地域移行により保護者の負担が増している現状は理解するが、PTAも学校を支える地域団体としてより参加に積極性が必要。それに地域も協力していきたい。

以上、その後了承を得た。

(3) 第2回学校運営支援協議会 生徒との熟議におけるテーマについて

事務局より、数点テーマ案を提示した。

鈴木委員：情報モラル・SNS利用のルールづくりはどうか。

星委員：市長の施政方針にある「将来的に地元に帰ってきて欲しい」という願いを生かしてはどうか。

千葉委員：テーマの選定にも生徒たちの意見を反映させて欲しい。

菊地委員：昨年度は生徒会役員の生徒が熟議に参加したが、役員以外の生徒の参加も検討して欲しい。

櫻井委員：熟議の結果が形として表れるものはどうか。熟議の結果、「〇〇をやってみよう」のような具体的な提案ができるとよいのではないか。またテーマの選定にあたっては、まなびフェストにヒントがあるように感じる。活用してはどうか。

今回意見いただいた内容を参考にし、検討することを確認。

(4) 情報交換・その他

鈴木委員：高齢者福祉について学べる「光栄荘劇団」というものがあるので、中学校でも活用を願いたい。

星委員：講演会などを開催すれば、補助もあるので市民センターをもっと活用して欲しい。